

はじめに

埼玉県学力・学習状況調査は、「学習したことがしっかりと身に付いているか」という従来の調査の視点に、「児童生徒一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という新たな視点を加えた自治体初の調査として、平成27年度からさいたま市を除く県内62市町村で小学校4年生から中学校3年生を対象に実施してきました。今年度は、令和2年度の小・中学校等の一斉臨時休業による影響を考慮し、5月の実施としました。

今年度の調査結果は、8月下旬に各実施校に返却をしました。調査結果には児童生徒の昨年度1年間の取組の成果が表れており、児童生徒には、本調査を通して現在の学力を知るだけでなく、「この1年間でどれだけ伸びたか」「過去複数年の自分と比べてどれだけ変容したか」などを実感し、自信を深めることを大切にしてほしいと考えています。

各学校においては、調査結果のデータから、学力等の伸びの状況を把握し、大きな伸びが見られた学級や教科の担当者からの聞き取りや授業参観を行い、効果的な実践を共有していただきたいと考えています。また、児童生徒の学力や学習方略、非認知能力などの状況を把握し、一人一人をより一層伸ばすための指導・支援について教職員で話し合うなど、積極的に活用していただきたいと考えています。

本報告書は、調査についての詳細や、結果の活用方法の例、これまでの実施状況から見えてきたこと、今年度の調査結果分析による指導のポイントなどを、分かりやすくまとめてあります。本報告書を授業改善等を進める際の参考資料として御活用ください。なお、本報告書は、PDFデータで埼玉県教育委員会ホームページにも掲載しますので、是非、多くの先生方に活用いただきたいと思えます。

県では、平成30年度から市町村の研修会等で本調査の特長や具体的な結果データの活用方法を説明する取組なども継続して行っています。今後も市町村・学校との一層の連携・協働による重層的な支援として、「①総合的な支援（本調査の分析結果の普及や効果的な取組の共有）」と「②重点的な支援（伸び悩みを抱える市町村や学校への訪問支援等）」に取り組み、学力向上に関わる様々な関係者の学力向上PDCAサイクルの質がさらに高まるよう働きかけてまいります。引き続き、御理解・御協力をお願いいたします。

令和4年1月

埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課長

渡 辺 洋 平